

立山黒部アルペンルート 完全攻略法

すべての疑問を解決

【初めてお越しのお客様へ】

①「個人で利用したいけど予約が必要？」という質問

- ・予約制ではないので、お近くの旅行業者で引換券（船車券）を購入するか、現地のキップ売場で当日購入するかになります。事前に旅行会社で引換券を購入していても、そのまま乗り物には乗車できません。キップ売場で交換が必要です。
- ・立山ケーブルカー上り（立山駅→美女平）のみ、インターネットで乗車予約が可能です。webキップという名前ですが、カード決済で購入できます。但し、座席指定ではありません。〇〇時〇〇分発・〇〇便、〇名乗車予約という具合に立山駅発の乗車便の指定です。
- ・混雑日には立山駅から室堂への直通バスが運行されます。これもインターネットにて予約ができます。毎日運航している訳ではありません。オフィシャルホームページで運行日をご確認ください。

②「カードは使えるの？」という質問

- ・クレジットカードは2011年4月現在で「立山駅」と「扇沢駅」でしか使用できません。途中の駅でキップを買い足したりする際には、現金が必要です。
- ・立山駅に一番近いキャッシュコーナーは、郵便局で富山地方鉄道「有峰口」近辺にあります。他には岩嶺寺にあるセブンイレブンにディスペンサーがあります。
- ・扇沢駅に一番近いキャッシュコーナーはJR信濃大町駅付近に八十二銀行などがあります。
- ・ホテル立山、弥陀ヶ原ホテルの2館では、フロントにてご利用いただけます。宿泊やルームキー購入の売店商品など、チェックアウトの際にカード支払できます。但し、宿泊以外のお客様はご利用いただけません。
- ・カードで購入した乗車券は途中駅にカード精算機がない為払い戻しできません。ご注意ください。

③「どうやって行けばいいの？」という質問

- ・アルペンルートといえば基本的に「立山」～「扇沢」を指しています。立山駅へは電車の場合、JR富山駅に併設する電鉄富山駅から富山地方鉄道で来ることができます。電鉄富山駅から1時間はかかりませんが、車内にトイレがありません。事前に済ませることをオススメします。
- ・扇沢駅へは電車の場合、JR信濃大町駅前から路線バスにのり来ることができます。信濃大町駅に向かってロータリー右側にバス乗り場があります。
- ・お車でお越しの場合は、立山駅、扇沢駅ともに駐車場があります。大きな無料駐車場がありますが、お客様の多い時期には駐車できても、遠くの場所に止めて歩くこともあります。混雑する日は、早めに到着するように行程を組んでください。
- ・アルペンルートは黒部ダム以外にも見所がいっぱいあります。ですので、通り抜けることにより、様々な景色が楽しめます。往復するよりも安くなり、とてもお得です。

- ・お車の回送サービスがあります。立山から扇沢へ通り抜ける場合や、その逆の場合に利用すると便利です。有料ですが、1台に4～5名乗って旅行しているのであれば、JR 料金と比較してもスゴク高いということはありません。アルペンルートの経営する会社ではないので、料金はお客様ご本人で確認ください。

④「食事できる場所はあるの？」という質問

- ・アルペンルート内でのお食事は、様々な駅でできます。大きなレストランがあるのは、室堂、弥陀ヶ原、黒部平、扇沢の4ヶ所です。黒部ダム、大観峰、立山駅には軽食のコーナーがあります。
- ・家からお弁当をもってくるお客様は、屋外で食事が可能です。但し、天候が悪い日には室内に弁当を食べるための場所がありません。天気の悪い日や、屋外の気温が低い日には、レストランや軽食コーナーでのお食事をおすすめします。
- ・また、室堂、黒部平にはそばコーナーがあります。他には「おやき」（そば粉入りの皮に野沢菜入り）なども販売しています。

⑤「コンビニは近くにあるの？」という質問

- ・立山駅から一番ちかいコンビニは、セブンイレブンです。場所は、富山地方鉄道の横江駅付近です。立山駅に向かう途中にあります。
- ・扇沢駅から一番ちかいコンビニは、セブンイレブンです。場所は、大町温泉郷に向かう途中にある、県道45号線西原交差点です。

⑥「高山病にはならないの？」という質問

- ・短時間でアルペンルートの中間点、2450mの室堂へお越しになった場合、高山病になるお客様がいらっしゃいます。症状の軽重はありますが、軽いものと耳が少し痛くなったり、重い場合は頭痛と吐き気で動けなくなったりします。
- ・もしも高山病の症状があらわれた場合には、お近くの駅員に申し出てください。出来るだけ早く、標高の低い駅へ移動できるよう手配いたします。ちなみに、高山病の症状が回復するアルペンルート内の標高の基準は1900m～1800m以下です。逆に2000m以上の標高では高山病を発症しやすいということです。
- ・お客様で自信がないとお考えの場合、次の方法で高山病を回避できます。立山駅からスタートのお客様は、美女平の原生林で森林浴に1時間。室堂行のバスを弥陀ヶ原で下車し、弥陀ヶ原高原で木道散策を2時間程度の時間をとってください。
これで標高1000mと1900mで体が高地環境に適応するため、もしも高山病を発症しても軽微な症状ですみます。
- ・扇沢をスタートするお客様は、黒部ダムで展望台見学に1時間、黒部平で庭園散策に1時間をかけてください。1500mと1800mで体が高地環境に適応するため、もしも高山病を発症しても軽微な症状ですみます。
- ・室堂の標高が2450mありますが、病院はありません。救急車やヘリコプターを要請することは出来ませんが、平地に比べて時間が多くかかります。

- ・年齢の低い子供などが高山病にかかりやすい訳ではありません。富山県の小学校では、学校行事（低学年を含み）で、立山登山する学校が多くあります。体質に起因することが多く、高山病にかかりやすいか判断のつかない場合には、先程のように時間をかけて上山するか、念のために携帯用酸素を準備するなどしてください。
- ・妊娠中の方から大丈夫か質問の電話を受けますことがあります。人によっては重篤な症状に陥る場合もあるため、なるべく 2000m以上への行程は避けた方が無難です。立山から弥陀ヶ原の往復か、扇沢から黒部平の往復にするなど、配慮が必要です。

⑦「台風で通れないことはないの？」という質問

- ・アルペンルートは山岳観光地であり、大自然の中を乗り物が走っています。そのため、いくつかの場合、通行止めになる場合があります。台風で止まることはありませんが、止まるとすれば、それは雪の時です。春先や初冬など、降雪が多い時期には、高原バスが運行できない日もあります。雪が多すぎて、どれだけ除雪しても間に合わないことがあり、そんな日は美女平～室堂間のみ通行止めになります。
- ・他にはどんな時に通行止めになるのかというと、雷が多発するケースです。乗り物は、ほとんど電気で動いており、雷には弱いのが実情です。ですから、雷が鳴りやみ、乗り物の安全と判断されるまで運行しません。
- ・そんなに通行止めになるのとお思いでしょうが、営業期間中に 3～4 日程度です。今日は大丈夫かなと思ったら、運行にかんする情報は入込駅ではもちろん、携帯サイトやホームページで情報を公開しております。3～4 日程度でもご迷惑をおかけすることには違いありませんが、できるだけご迷惑にならないように頑張っています。

⑧「乗り物料金がすごく高い？」という質問

- ・立山～扇沢までの片道料金は 8,060 円です。値段だけみると高く感じますが、乗り物ごとに計算すると、アルペンルートの乗り物より高額な同種の乗り物が多くあります。例えば大観峰～黒部平間を運行する「立山ロープウェイ」ですが、1.7kmの営業距離で 1,260 円なので 100mあたり 74 円です。有名などころでは、函館山ロープウェイは 100mあたり 77 円、伊香保ロープウェイは 100mあたり 96 円、金華山は 100 円、雲仙は 122 円など、当社の乗り物より高額なものは多くあります。乗り物がいくつもあり、まとめてしまう為、高額に見えるのです。
- ・アルペンルート+路線バス+富山地方鉄道＝10,500 円ぐらいです。信濃大町から富山駅までの JR 料金は（特急含む）4500 円ぐらいですので、観光のために支払うお金は 6 千円ぐらいとなります。この金額が高いのか安いのかはお客様の考え次第だと思います。20mの雪の壁「雪の大谷」や天然記念物の「雷鳥」、日本一の落差の「称名滝」、日本三名山の一つ「立山」など、数々の日本一が楽しめます。また、アルペンルートにしかない「トロリーバス」などに乗車でき、他の観光地では見られないものが多く存在します。貴方はこの大自然にいくらの価値があると思いますか？

⑨「薬は売っているの？」という質問

- ・立山駅と室堂の売店で、酔い止めなどの薬を取り扱っています。しかし、薬局ではないため、取り扱う種類も量も少なく、お客様自身の体質に合った薬を持参いただければ幸いです。
- ・夏休みの時期には、臨時の診療所が山岳警備隊のある施設内に開設されます。あくまでも臨時の施設であり、年によって開設期間や日にち等まちまちです。詳しくは現地の係員にお尋ねください。

⑩「キャンプ用品は売っているの？」という質問

- ・室堂平には雷鳥沢キャンプ場があります。トイレと水場があり、室堂平では、このキャンプ場以外でのテント設営および火器の使用は禁じられています。ランタンやバーナー用ガスが売っていないのか聞かれることがありますが、2011年7月から2Fのノースフェイス・ホテル立山店にて取り扱いを始めました。但し数量に限りがあります。大量に必要な場合には持参してください。
- ・キャンプに必要な備品等、カラビナなど簡単な商品は販売していますが、基本、必ず持参してください。食料品に関しては、ジュースや酒類、お菓子類、カップ麺を販売しております。室堂ターミナルの売店および各山小屋で購入が可能です。また、防寒具の販売もしています。
- ・登山靴の靴底が剥がれたので、靴を販売していないか聞かれることがありますが、2011年からノースフェイス・ホテル立山店がオープンしましたので、今まで販売していなかったトレッキング靴が購入できるようになりました。でも、登山途中で壊れるのが日ごろ履かない登山靴というものです。室堂ターミナルまで遠い場所で壊れたことを考慮して、応急処置用に便利な布ガムテープを持参すると便利です。
- ・室堂を中心として、剣、薬師、水晶岳等、各方面にキャンプ場があります。雷鳥沢、剣沢、真砂沢、池の平、東沢出合、スゴ乗越、薬師峠、黒部五郎、三俣蓮華、五色ヶ原、折立、馬場島、早月、阿曾原などが主なキャンプ施設です。

⑪「最終便がでたら乗せてもらえないの？」という質問

- ・立山方面、扇沢方面どちらへ向かう場合でも、決められた最終便があります。この最終便に間に合わなかった場合、一番近い山小屋へ宿泊していただくこととなります。例えば室堂の場合、お客様自身が、ホテル立山、室堂山荘、みくりが池温泉、雷鳥荘、天狗平山荘などの山小屋へ電話で空室確認をおこない、宿泊していただきます。ダムで乗り遅れた場合は、ロジックくろよんに電話することとなります。
- ・季節によって乗り物の運行時間が変わります。当日の最終便の案内は各所に掲示されていますが、お客様も時刻表にて確認し、乗り遅れないよう行動することをお願いします。
- ・GWやお盆など、とても混雑しており、各乗り物の輸送能力を超えたお客様がお越しになり、最終便の時間を過ぎてもお客様が大勢いらっしゃる場合、全員運び終えるまで運行いたします。

⑫「郵便は送れるの？」という質問

- ・室堂ターミナル内に山頂郵便局があります。例年ですと5/10頃から開設しています。山頂郵便局の消印で旅先からのハガキを親しい人に送ることができます。また、木のハガキや記念切手の販売も行っています。

⑬「手荷物はどうしたらいい？」という質問

- ・宅配便の取扱いは、各駅の売店で行っています。お土産を自宅や友達に送ることもできます。また、室堂売店では、ホテル立山宿泊のお客様の手荷物宅配を行っており、手ぶらでホテルに泊まることも可能です。他には弥陀ヶ原ホテルでも同様の取り扱いを行っています。宅配会社はJPエクスプレスです。
- ・他にアルペンルートを手ぶらで観光できるサービスがあります。有料になりますが、指定の場所から場所へ送ることができます。例えば富山市内・宇奈月温泉のホテルにお客様が宿泊しているとします。宿泊したホテルのフロントで指定の時間までに荷物を預け、荷物だけ大町温泉かJR信濃大町駅へ運んでくれるというものです。料金は1200円です。詳しくはアルペンルートのオフィシャルサイトをご覧ください。

- ・お子様連れのお客様で、ベビーカーを持参される場合、アルペンルートは階段も多く、持ち運びには大変不便です。幼児をお連れになる場合には、肩かけタイプが便利です。また、大きなトランクも移動に際して不便です。手荷物回送サービスを利用するなど、なるべく手持ちの荷物は少なくするか、背負うことのできるタイプのリックやザックにしてください。

⑭「山の中で宿泊すると良いことありますか？」という質問

- ・山の中の宿泊施設といえば、室堂に集中しています。ホテル立山、室堂山荘、みくりが池温泉、雷鳥荘、雷鳥沢ヒュッテなど、たくさんのホテルや山小屋があります。弥陀ヶ原には、弥陀ヶ原ホテル、立山荘の2館があります。他に天狗平には、天狗平山荘と立山高原ホテルがあります。
- ・室堂、弥陀ヶ原、天狗平それぞれ場所ごとに特徴があり、違った魅力があります。室堂は星がきれいに観察でき、肉眼で天の川を見ることができます。(ホテル立山では晴れた日に星の観察会を開催しています。また、ご来光ツアーも実施しています)
- ・弥陀ヶ原では、めずらしい高山植物の宝庫で、花好きの方が多く訪れます。また、宿泊しないと観られないのが、富山湾に沈む夕日と富山平野の夜景です。(弥陀ヶ原ホテルでは、食事をしながら夕日や夜景が楽しめます)
- ・宿泊して、一番の特典は天候でしょう。昼は雨や曇り、霧でも、朝夕は晴れているということが多々あります。せっかくの大自然ですから、きれいな景色がどうしても見たいと思われるなら、宿泊されることをおすすめします。雲海に沈む夕日など、いくら見ても飽きることのない風景が目の前いっぱいになり、また泊まりに来たくなくなってしまいます。(室堂平に暮す雷鳥は、特に朝に集中して見られます)

⑮「明日のお天気はどうですか？」という質問

- ・気象予報士でも、神様でもないため、電話で問い合わせられても断定した天気は答えできません。アルペンルートの気象は「富山県東部」の気象状況に近いため、TVの天気予報を参考にしてください。また、別の方法として、気象ダイヤルがあります。富山気象台は0764-177となっています。
- ・晴れるか雨か、いずれにしても、防寒兼用で雨具を持参すると便利です。但し、傘は強風のときに飛ばされて他の人に当たる危険性があります。雨具を忘れた場合には、売店で500円程度のビニールのレインウェアを販売しています。また、ノースフェイスでも本格的なレインウェアを販売していますので、傘での散策はなるべくご遠慮ください。

⑯「忘れ物をしてしまった。どこに聞けばいいの？」という質問

- ・ルート内を旅行中に忘れ物、落し物をしてしまった場合、失くした場所が「黒部ダム～扇沢間」であれば、関西電力へお問い合わせください。黒部ダム～室堂間の場合は室堂運営所へ、室堂～立山駅間であれば、立山運営所へお問い合わせいただくことになります。
- ・登山中、または散策中に落としてしまった場合、室堂山岳警備隊へお問い合わせとなります。
- ・お問い合わせいただき、もし該当する落し物、忘れ物が見つかった場合、お客様の希望の送り先へ、着払いで送らせていただきます。
- ・各所でお預かりしている拾得物は、失くした日から1週間以内に、警察へ移管されます。日数のたったものに関しては、上市警察署へお問い合わせください。

⑩「服装はどうすればいいの？」という質問

- ・ルート内で一番標高の高い室堂を基準にお話しすると、部分開通する 4/10 から 6 月下旬くらいまでは、散策道に雪が残っています。また、10 月下旬から 11 月上旬に雪が降り始め、11 月は初滑りのお客様でにぎわいます。つまり、1 年のうち 7, 8, 9 月のみ万年雪以外の雪がなくなるようになります。ですから、天然の氷室状態で平地よりも 10℃以上も低いということです。
- ・残雪の残る期間は防水性の高い靴が便利です。最近ではトレッキングシューズでも防水性に優れており長靴を履いてお越しになる必要はありません。但しバッシュや草履では厳しいです。
- ・他には、雨具兼用防寒着、サングラス、日焼け止め、リップクリームは欠かせません。散策道の状況はホームページなどで公開しています。ご参考ください。

【何度もお越しのお客様へ】

①「アルペンルート職員の一押しのおすすめの場所は何？」という質問

- ・人は何故か一番高い場所が好きなようで、訪れるお客様のほとんどが室堂か黒部ダムを観光されます。もちろん両方とも、とてもいい場所ですが、これ以外の場所はあまり観光されないようです。そこで、アルペンルート訪問が初めてではないお客様におすすめの場所をご案内します。
- ・職員によって「一押し」する場所は違いますが、敢えて奨めるとすれば、弥陀ヶ原高原の散策でしょう。雪解けも室堂より早く、高山植物の開花も室堂より数か月はやく、種類も豊富です。湿地帯である分、植生も豊かで 100 種類以上の花が見られます。
- ・弥陀ヶ原高原は、初めていらっしゃるお客様が降車しないため、ほとんど混雑することがありません。夏にはめずらしい高山植物を楽しむことができ、秋にはルート内で一番紅葉がきれいな場所です。弥陀ヶ原は宿泊予定者が写真が趣味のお客様しかいないため、気持ちよく散策できます。また、標高も 1930 m と高山病になることもない為、長時間の滞在が可能です。カルデラ展望台もあり、多様な景色が楽しめます。ホテルのロビーで雲海コーヒを飲みながら、心静かに大自然を堪能してはいかがでしょうか。
- ・弥陀ヶ原でバスに乗るとき、来たバスが満席だったらどうすればいいのかと聞かれることがあります。でも、弥陀ヶ原駅では、降車したお客様に「乗車予約」をお願いしています。つまり、予約分の席を空けたバスがやってきます。そのため絶対に満席で乗れなかったり、座れなかったりすることはありません。混雑している時期でも乗車は予約制のため、他の駅のように並んで待つ必要がなく、かなり優遇されており、待たなくていい点でもおススメです。
- ・弥陀ヶ原以外では、みくりが池温泉をおススメします。外来入浴が可能で、日本最高所の温泉を気軽に楽しむことができます。名物の地獄玉子や風呂上がりのソフトクリームもおススメします。
- ・何度もお越しのお客様は、立山登山は経験しているかもしれませんが、天狗平から弥陀ヶ原までの旧立山登山道を歩いたことのある方は少ないと思います。この旧道は下りで約 3~4 時間のコースですが、大日連山を右手に見ながら進む、景色のすばらしい木道です。途中の「獅子ヶ鼻岩」付近には短いです。クサリ場も 2 か所あり、中級者の方でも十分に楽しめます。特に紅葉シーズンは、景色が素晴らしすぎて、デジカメのデータがすぐにいっぱいになってしまいます。予備の SD カードと予備の電池をお忘れなく。
- ・日本一の落差「称名滝」もおススメです。初めてアルペンルートへお越しのお客様は、バスの車窓から遠くに滝を見られた方もいらっしゃると思います。通常ルートからは外れた場所にあり、立山駅からバスで 20 分、徒歩で 20 分かかる場所にあるため、県外からお越しの場合、時間がなくて見ていない方も

多いはず。ですから2回目、3回目のアルペンルート訪問を考えているお客様には「称名滝」をおススメします。落差350mの滝で、日本一。加えて、春には雪解けの時期にしか見られない落差500mの「ハンノキ滝」もいっしょに見ることができます。大迫力の景観を保障します。

②「何度も来ているのに安くないの？」という質問

- ・何度もご利用いただいているお客様には、「立山アルペン倶楽部」への入会をおススメします。宿泊施設の割引や売店商品の割引、そして、来山した回数に応じた乗車券の割引など、特典がいっぱいあります。3シーズン利用できて会費は2,000円となっています。
- ・「立山アルペン倶楽部」の会員は、乗車券の購入代金、最低1割引からスタートし、10回以上の利用で半額となります。宿泊料金もホテル、山小屋とも、5~10%の割引。レストランでのお食事は1割引。売店は5%割引となっており、1回来るだけでも2,000円以上の価値があります。
- ・例えば、大阪からお越しのお客様。ご夫婦とも会員でホテル立山に1泊するとします。この場合19,950円の1割引。立山から黒部湖の往復乗車券を購入したとすると、10,490円の1割引。ご家族やご近所へお土産を5,000円分購入したと仮定して合計すると、お一人1,995+1,020+250=3,015円お得となりました。
- ・3シーズン有効ですから、会員になった年に「夏の立山」、次の年に「春の立山」、次の年に「秋の立山」とオールシーズン利用したい場合など、もっとお得になります。雪の壁、立山登山、目に鮮やかな紅葉など、季節ごとの魅力がいっぱいです。
- ・その年ごとに「特別割引プラン」が発表されます。詳しい情報はオフィシャルサイトでご確認ください。特別割引プランはいくつかありますが、中でも人気が高いのは、「ファミリー割引」です。これは、「おとな」ひとりに対し「こども」ひとりが無料というもの。つまり、おとな2名、こども2名でお越しの場合は、おとな2名分の運賃しかいただきません。
- ・出発前に特別割引の存在を知らずに、現地で初めて知ったというお客様をよく見かけます。知っていたら旅行業者で購入しなかったのにも言われます。旅行業者さんで販売しているものの中にはJRやホテルがセットになったものもあり、一概にどちらが安いとは言えません。ご自分で移動も宿泊も手配される方にはお得となります。計画した時にサイトで情報確認していただければ幸いです。

③「いつの景色が一番いいの？」という質問

- ・季節ごとに魅力があり、甲乙つけがたいところです。でも、1年に1回だけしか見ることでできない風景の日があります。それは、「三段紅葉」と呼ばれている日です。「三段紅葉」とは、紅葉の山に初雪が降り、白、赤、緑と三色のコントラストが見られる日のことです。アルペンルートは高低差が大きく、山頂では紅葉でも、麓では緑の木々が繁っています。この状態で初雪が降ると三色になりますが、なぜ1日だけなのか。夜間に冷え込んで雪が降り、次の日に晴れなければ見えません。紅葉は雪をかぶると鮮やかさが抜け、黒く変色してしまいます。次の日には、雪は解け、紅葉の範囲が少なくなります。また、見られない年もあります。初雪は早い年では9/14だった時や、遅いときは10月中旬以降の年もあり、「運」が全てです。(大抵お客様の少ない平日のことが多いです)
- ・全線開通直後もおススメします。雄大な山々と雪の大谷など、全てが純白の雪に覆われています。全線開通直後は雪の壁の高さも、一番高く見応えがあります。立山連邦もとても美しく、他の観光地では見ることの出来ない風景が広がります。しかし、この風景も「黄砂」が降るまでの景色であり、大陸から黄砂が降ることにより、徐々に純白ではなくなってしまう。というわけで、全線開通直後の白い世界をおススメします。

④「朝日がきれいに見える場所はどこ？」という質問

- ・朝日がきれいなのは、もちろん「立山の山頂、雄山」です。室堂からみると、朝日は長野側（立山の向こう）から昇ります。そのためご来光をみるために、早朝暗いうちから山頂目指して、多くのお客様が登山されます。神々しいまでのご来光は、一見の価値があります。
- ・何時間も登山せずにご来光が見たいお客様は、「ホテル立山」にご宿泊ください。ホテルのイベントとして「ご来光ツアー」があります。フロントでツアー参加を申し出ると、ご来光が見えそうな天候の場合、モーニングコールでお知らせします。室堂から大観峰へトロリーバスで移動し、大観峰の展望台からご来光を見学します。乗り物にのる為有料ですが、山小屋に宿泊してもこのツアーには参加できません。ホテル宿泊者限定のツアーです。

⑤「夕日がきれいに見える場所はどこ？」という質問

- ・夕日がきれいに見える場所は「弥陀ヶ原」です。夕日は富山平野方向に沈んでいきます。室堂からも夕日は見られますが、国見岳、天狗山、大日岳の間に平野部が少し見えるだけで、視野が狭く、最後まで夕日を見ることはできません。
- ・その点、弥陀ヶ原であれば、視界を妨げる大きな山もなく、富山平野が大きく開けて見えます。もちろん夕日を見ることのできる時間は、最終便以降の時間であるため、宿泊することが前提です。とくに、弥陀ヶ原ホテルのパブリックスペースは、富山平野を眺められるように設計されており、ロビーからも、食事場所からもご覧になれます。
- ・レストランは最初、晴れた日はまぶしい為カーテンが閉まっています。それが、食事中に夕日が見ごろになると、さっとカーテンを開けてくれます。べたな演出ですが、かなり感動します。

⑥「星がきれいに見える場所はどこ？」という質問

- ・アルペンルート内には道路わきの街灯も、民家の窓明かりもなく、星の観測を妨げる光がほとんどありません。また、高地であるため大気が澄んでおり、天の川まで肉眼でみることができます。ホテル立山宿泊のお客様には星の観察会を催しており、宿泊者であれば参加は無料で自由です。
- ・空を見上げれば「満天の星」、富山平野を見下ろせば「地上の星」と、弥陀ヶ原から望む景色も素晴らしいものがあります。
- ・星空は室堂の方が見える面積が広く、夜景は弥陀ヶ原の方が見える面積が広いので、一長一短があり、どちらをメインにするか悩みどころです。
- ・弥陀ヶ原ホテルでは、夜にはスライド上映会が開催されており、自分が訪れた季節以外の見どころを、スライドを使って説明してくれます。

⑦「高原バスは天狗平、弥陀ヶ原でしか乗り降りできないの？」という質問

- ・通年利用できなかつたり、降車しかできない駅もあつたり、ほとんど利用するお客様はいません。
- ・期間限定で「弘法」にバス停が設置されます。登山道の八郎坂が通行可能になるのに合わせて、例年ですと7月下旬に設置されます。この駅は乗降車が可能です。
- ・降車みの駅は、ブナ坂、滝見台、上ノ小平、追分、美松、天狗口です。但しこの駅までの乗車券は、天候状況や残雪の具合、装備などによって販売しない場合があります。通常利用しないバス停ということは、不便な場所にあることの証明であり、山をよく知る人でないと、危険だからです。

- ・おススメは秋の弥陀ヶ原下車、弘法乗車です。高原の散策を満喫できるとともに、弘法付近から見下ろす風景も最高です。弥陀ヶ原から追分、追分から松尾峠、松尾峠から弘法と散策するコースが特におススメです。

⑧「撮影ポイントを教えて」という質問

- ・撮影ポイントのおススメ1はみくりが池です。べたな撮影場所ですが、みくりが池温泉手前のスポットからしか、みくりが池に映り込んだ逆さ立山が見られないからです。無風に近く、湖面が波打たない日は、そんなに多くありません。撮影に挑戦してみてください。(逆さ浄土山も映ります)
- ・撮影ポイントのおススメ2は室堂乗越から撮影する劔岳です。いかにも尖った山の形状が劔っぽく見えます。一目で劔岳と判ります。
- ・撮影ポイントのおススメ3は室堂山展望台から撮影するカルデラの風景。カルデラの周りに連なる山々が見られ、薬師岳のたおやかな姿も撮影できます。日によってはカルデラ全体に雲がかかり、絶景となります。
- ・撮影ポイントのおススメ4は三ノ越から撮影する室堂平です。雄山登山の途中での撮影となり、室堂平に点在するみくりが池や山小屋、地獄谷などを全て写すことができます。
- ・撮影ポイントのおススメ5は雄山山頂から撮影するご来光です。気合と根性で夜のうち山頂に登り、朝を待ちます。ご来光の登り始めから完全に登りきるまでの、空の色と太陽の色の変化がとても美しく、何十枚も撮影してしまいます。
- ・撮影ポイントのおススメ6は獅子鼻岩から撮影する弥陀ヶ原高原です。断崖の上に立つことになるので落ちないように気を付けてください。この岩の上からは、弥陀ヶ原に点在する池塘の一つ一つが輝いて見えます。特に紅葉の時期をおススメします。
- ・撮影ポイントのおススメ7は美女平原生林地区にそびえる立山杉の巨木群です。不老樹、火炎杉、仙洞杉などたくさんの巨木があり、幹まわり6m以上の巨木が147本あるといわれています。樹齢も2000年を超えるものもあり一見の価値ありです。
- ・撮影ポイントのおススメ8は黒部ダムの展望台から撮影する放水です。展望台は2か所あり、見下ろす位置にある展望台と、放水の位置と視線が同じ展望台があり、どちらも迫力満点です。日本一の高さを誇る(186m)ダムであり、ダムの放水時に虹がかかる場合があります。
- ・撮影ポイントのおススメ9は弘法から撮影する高原バス道路です。道路を撮影しても楽しくないと考えられるでしょうが、秋の紅葉期に赤やオレンジ、黄色の木々の間を走り抜けるバスとワインディングロードはとても幻想的だと思います。
- ・撮影ポイントのおススメ10は黒部平から撮影する裏立山です。真っ赤に染まったナナカマドやダケカンバの黄色、峰楓のオレンジなど、タンボ平全体が錦織の布を広げたような鮮やかな景色に目を奪われます。紅葉の中を浮かぶように進むロープウェイの姿など、秋の黒部平庭園からの景色は見事です。
- ・撮影ポイントのおススメ最後は弥陀ヶ原高原の木道から撮影するワタスゲです。撮影できる期間も条件も限られますが、群生する綿帽子のようなワタスゲの姿は美しくもあり、愛らしくもあります。ワタスゲの花が咲き終わると綿帽子の状態になります。見られる期間は1ヶ月ほどですが、雨に当たると綿毛が萎んでしまいフワフワの状態が維持できなくなります。ですから、前日から晴れている日に撮影するのがベストです。

立山黒部アルペンルートは四季ごとの魅力があり、一度訪れるだけでは全てを見ることはできません。春夏秋冬それぞれに多彩な色彩が高原に広がります。

また、登山、観光、スキーなど、色んな楽しみ方ができ、何度も訪れてみたくなる観光地であることを自負しています。日々快適な旅をお届けできるよう現地職員一同、精進し続けています。

お越しの際には、判らないことは現地係員に気軽におたずねください。

心よりお待ちしております。